

古事類苑

地部二十七

安藝國

安藝國ハ、アキノクニト云フ、山陽道ニ在リ、東ハ備後、西ハ周防、北ハ石見ニ接シ、南ハ海ニ面ス、東西凡ソ二十里、南北凡ソ十六里、此國ハ古ヘ國府ヲ安藝郡ニ置キ、沼田、賀茂、安藝、佐伯、山縣、高宮、高田、沙田ノ八郡ヲ管シ、延喜ノ制、上國ニ列ス、後世高宮郡ヲ高田郡ニ併セ、沙田郡ヲ豊田郡ト改メ、更ニ沼田郡ヲ廢シテ其地ヲ合ス、安藝郡ハ、始メ分チテ安南、安北ノ二郡ト爲シ、ガ後、後安南郡ヲ安藝郡トシ、安北郡ヲ高宮郡トス、佐伯郡モ亦佐東、佐西ノ二郡ト爲シ、用キタレドモ、固ヨリ其舊地ニハ非ズ、明治維新ノ後、沼田、高田二郡ヲ合セテ、安佐郡ト爲シ、新ニ廣島、吳ノ二市ヲ設ケ、廣島縣ヲシテ之ヲ治セシム、

名稱

〔倭名類聚抄五國郡〕安藝

〔運歩色葉集阿〕安藝六郡

〔新撰類聚往來下〕國名〇中安藝藝州

〔日本風土記寄語島名〕安藝阿計

〔古事記傳十八〕阿岐國ハ、山陽道なる安藝國なり、名義未思得ず、山城國相樂郡の和伎ハ、崇神紀に國名も若くは我君歟、さる由縁ありてや名け、む、安藝郡安藝郷もあれば、其より出たる國名なるべし、三代實錄十四に、